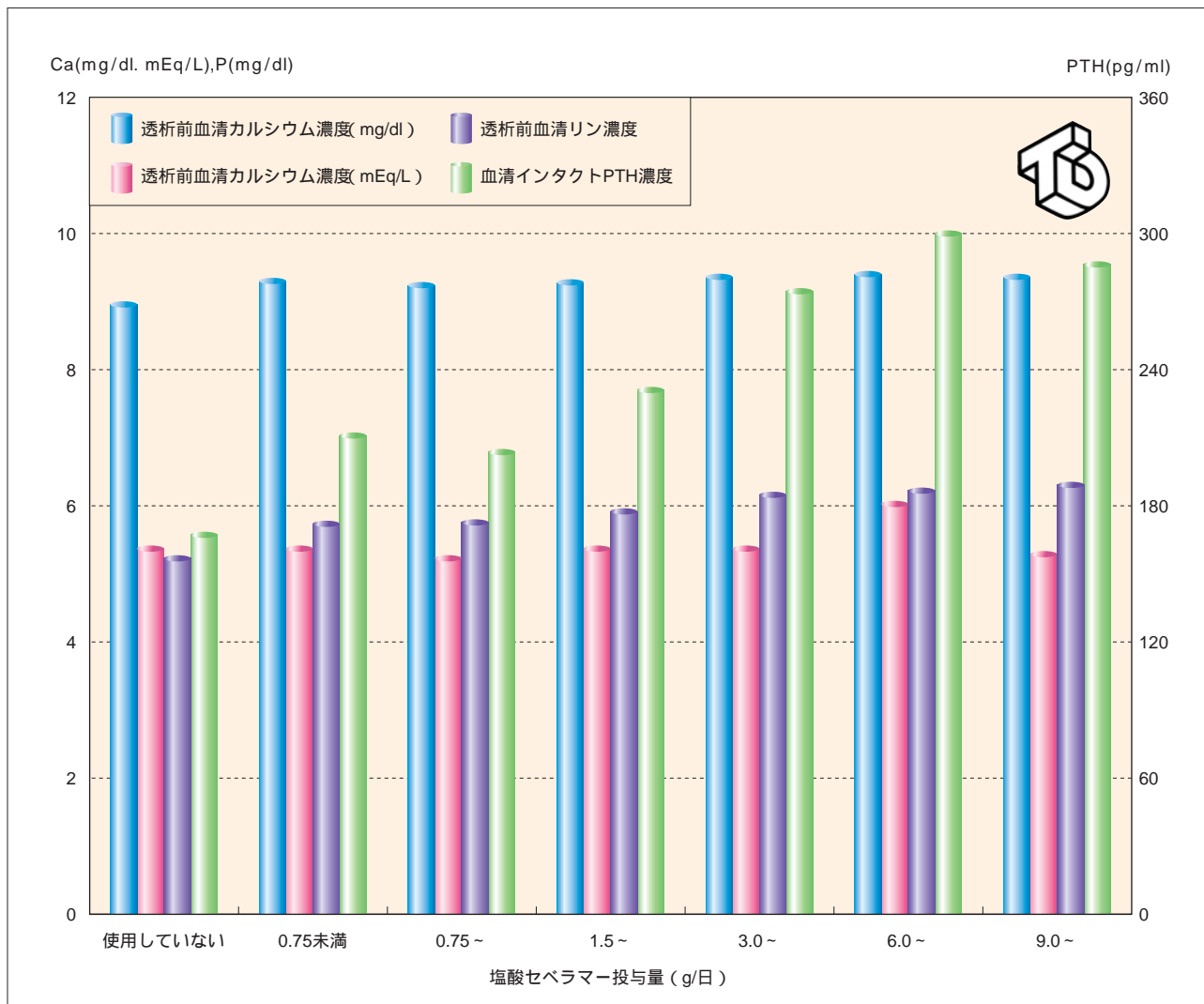


# 1) リン吸着薬の使用状況

## (3) 塩酸セベラマー投与量別 カルシウム、リン代謝 (図表24)



	使用していない		0.75未満		0.75~		1.5~		3.0~		6.0~		9.0~	
	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差
透析前血清カルシウム濃度(mg/dl)	9.00	0.95	9.33	0.98	9.25	0.97	9.32	0.92	9.40	0.92	9.44	0.97	9.45	1.04
透析前血清カルシウム濃度(mEq/L)	5.41	1.79	5.45	1.97	5.30	1.69	5.40	1.75	5.45	1.74	5.93	2.06	5.34	1.55
透析前血清リン濃度	5.26	1.49	5.81	1.58	5.80	1.49	5.98	1.51	6.18	1.51	6.26	1.51	6.34	1.57
血清インタクトPTH濃度	169.02	187.20	211.63	219.34	205.03	239.26	232.73	242.46	274.84	272.63	299.91	297.65	287.52	276.65

### 解説

塩酸セベラマー投与量と透析前血清カルシウム、リン、インタクトPTH濃度について検討しました。血清カルシウム濃度の単位については施設によってmg/dlとmEq/Lの場合があり、理論的には単位をそろえることも可能ですが、測定法が異なっている可能性も考え今回は別に扱いました。

塩酸セベラマー投与量が多い群は血清リン高値、血清インタクトPTH高値の傾向がみられますが、透析前血清カルシウム濃度には明らかな差は認めませんでした。